



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30-13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
		電話 0235 5775

会長	小松	広穂	穂
幹事	皆川	英三	二郎
会報委員	上野	耕喜	二一
	高内	喜俊	次
	板垣		

No., **1037** 1979. 12. 11 (火) (雨) No.,24

ウイスター紹介

本間留芳君 食料品販売—温海R.C
林 権之助君 電気器具販売—鶴岡西R.C

会長・幹事報告

会長 小松広穂君

1. ロータリー財団に対する寄附金が3200%になった事の証書が到着して居ります。(8月31日ガバナースマンズリーターに発表された)
2. 指名委員会による次年度役員・理事の発表があります。

幹事 皆川英二君

1. 例会時間、場所変更のお知らせ
鶴岡西R.C クリスマス家族会のため

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

12月21日（金） PM 5:30

於 鶴岡産業会館 5 F ホール 登録料 ￥ 6,000

藤沢 R. C クリスマス家族会のため

12月19日 PM 6:30

於 横浜銀行藤沢中央支店 3 F 登録料 ￥ 5,000

55年1月2日は休会

2. 会報到着

鶴岡西 R. C、鹿児島西 R. C、藤沢 R. C

◆ 次年度理事の決定

会 長	嶺 岸 光 吉 君	国際奉仕	迎 田 稔 君
会長エレクト	新 穂 光一郎 君	青少年奉仕	菅 原 辰 吉 君
副 会 長	中 江 亮 君	幹 事	佐 藤 衛 君
職業奉仕	佐 藤 元 伸 君	副 幹 事	藤 川 享 胤 君
社会奉仕	市 川 輝 雄 君	会 計	金 沢 春 雄 君

◆ イニシアル・スピーチ

中 村 真 君

鶴岡支店に赴任直後、荘銀玉城頭取にご挨拶申し上げたところ、「7年前に僕が赴任しての第一印象は、煙突のない街だナー」と感じたということでした。

経済的には米作農業を基盤とする地域特性とする田園都市鶴岡が、玉城頭取の第一印象を形づくったのかも知れません。

山形県が昭和45年2月に出した「庄内地域開発の構想」を見ましたところ、特に開発戦略の方向として工業開発が重視されており、しかも酒田市との「連合都市帯」の構想が提起されていることに注目したいと思います。

10万都市が2つある地域というのではなくて、20万都市が1つあるという形での都市機能こそが、若い労働力をひきつける中核的都市を形成するだろうという提言であります。

この提言がその後どうなっているのか私にはわかりませんが、54年6月に鶴岡市がまとめられた「鶴岡市総合計画基本構想」では、上の提言は別に明言されている箇所がないように思われますが、少なくとも「適正な工業開発の推進・商業振興」がうたわれ、道路交通体系の整備と共に、重要な基本柱となっていることは明らかであります。

私としては、銀行の窓口を通して地域発展のために微力をつくす覚悟でございますので、よろしくご指導いただきたいと存じます。

久保田万太郎の俳句

日本海 みたき ねがいや 冬ごもり

というのがあり、彼の「日本海の波」という文章の中に「雪に降りこめられて、一ト晩泊り、あくる日昼間の汽車に乗って、遠くなったり近くなったりする日本海の、暗い険しい、しかも哀しい眺めに、自分をあたえつつ、東京へ帰った。……象潟だの、温海だの、鼠ヶ関だのという、何かあだには見過せない駅々の名前が、そのときぼくの胸に深く刻まれた」というのがあります。

また酒井忠明氏の歌集「みちのく」の中で最上川を詠んだ

雪あれの おさまりし日を 最上川の
ひたゆく水の 大き しづけさ
最上川 夕なぎ赤き 川下の
広きをさして 舟いくつゆく

上のいづれも庄内の美しい自然の景観・壮大な雪の最上川の音のない大きな流れを歌い、あるいは羽越沿岸の暗い険しい、しかも哀しい情感を詠んだものと考えられます。

このような風土の影響が、庄内の人に内省的・粘着性と忍耐力を植えつけ、また質実剛健の気風が庄内藩士の伝統と共に生きて、高山樗牛、阿部次郎、小倉金之助、土屋竹雨のような偉人を輩出させたと考えております。

大変唐突で誠に根拠も薄い見方かも知れませんが、山形県内における大阪が酒田市であるとするならば、鶴岡市は古い歴史と豊かな史跡に恵まれて非常に文学的情緒をかもしだす京都にもたとえられます。

土屋竹雨の七言絶句の中に「故国の山水清暉多し、帰らんと曰い帰らんと曰い猶未だ帰らず、一夜夢に皓鶴の背に乗じて、遠く明月峯頭に向って飛ぶ」

勝福寺に疎開していた声楽家村田せつ子を尋ねた作曲家の中田喜直が、鶴岡駅から夜の9時に馬櫓に乗って行く途すがら、月夜の空から舞いおりてくる雪の美しさに、名曲「雪の降る町を」を作曲し、内村直也が作詞されたという。

このような情感こそ鶴岡のものであろうかと思われます。

委員会報告

天童温泉 滝の湯ホテルにて 12月9日(日)

丹下誠四郎君

派遣学生に対し、富士海外旅行社よりパスポートの取得、その他旅行に必要な種々の注意及び証明を約1時間にわたり行い、終了後直に派遣学生及び受入れクラブのオリエンテーションを行い、つづいて来春帰国する学生の送別会を開き、それぞれ一人一人スピーチを混え今迄の日本での勉強をもとに国に帰り、日本のすばらしいよさをP・R、(ちょっぴり帰るのが寂しいとは全員の本音)国際親善に大いに役立てさせて下さいとスピーチ、なごやかに会もすみました。

出席者 { 丹下誠四郎 君
梅木江理さん (来春オーストラリア派遣学生)
おとうさん
ジョン君

アジア100円献金

石 黒 慶 之 助 君

世界社会奉仕活動の事業として「アジア100円献金」のご協力を頂いておりましたが、その締切りが、12月20日（上半期）となり、募金¥28,462,000円を12月6日、253地区ガバナーの指定する 委員会の口座へ振込みましたので、諸君の善意を深謝し、ご報告いたします。

◆ ス マ イ ル

小 池 繁 治 君 御母堂様ご逝去されて

出 席 報 告

本日の出席	会員数	72名	欠席者	張君、早坂(徳)君、風間君、金沢君、黒谷君、三浦君、本山君、森田君、熨斗君、野村君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、高橋(良)君、玉城君、富樫君、上野君、吉野君
	出席数	55名		
	出席率	76.39%		
前回の出席	前回出席率	70.83%	メア 1ッ クラブ	阿部(襄)君—酒田東R.C 石井君、坂垣(俊)君、板垣(広)君、風間君、川村君、黒谷君、本山君、森田君、高橋(耕)君、玉城君、山口君、吉野君—鶴岡西R.C
	修正出席数	64名		
	確定出席率	88.89%		

<会報委員会よりお願い>

- ・ 毎回会員各位にお願いしているように、スピーチ等の場合、原稿又は要旨（簡条書きでも可）を提出して頂くと、省力化が計れますので、御協力下さい。
- ・ 各委員会の委員長の皆さん!! 委員会報告用紙がありますので、御利用下さい。
- ・ 原稿、要旨、報告事項はスピーチ等終了後、直ちに会報委員にお渡し下さい。
- ・ 写真は印刷の関係上なるべく白黒でお願いします。